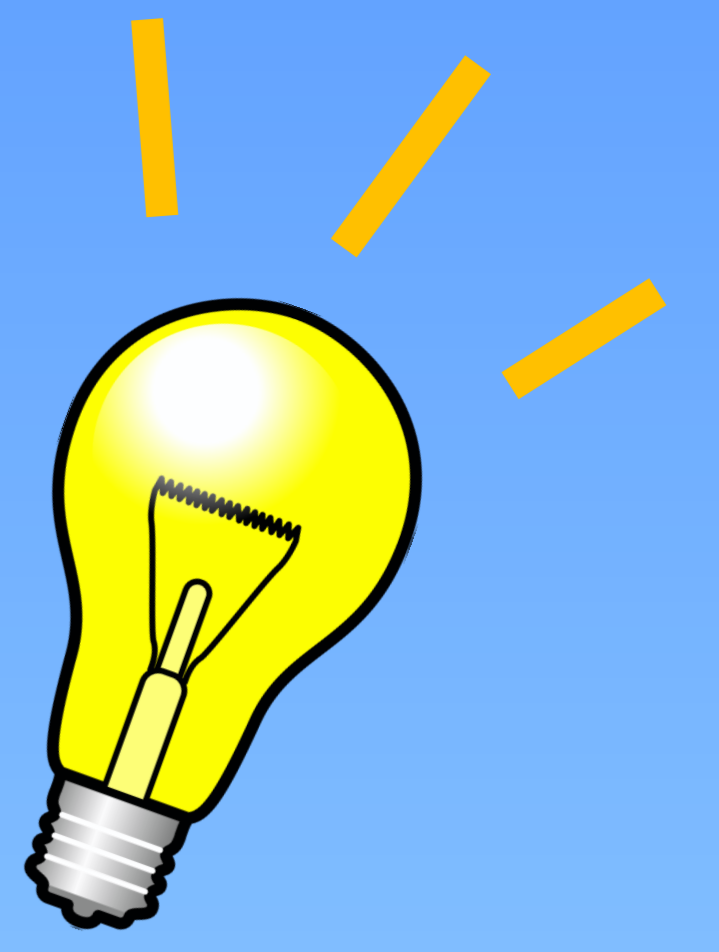




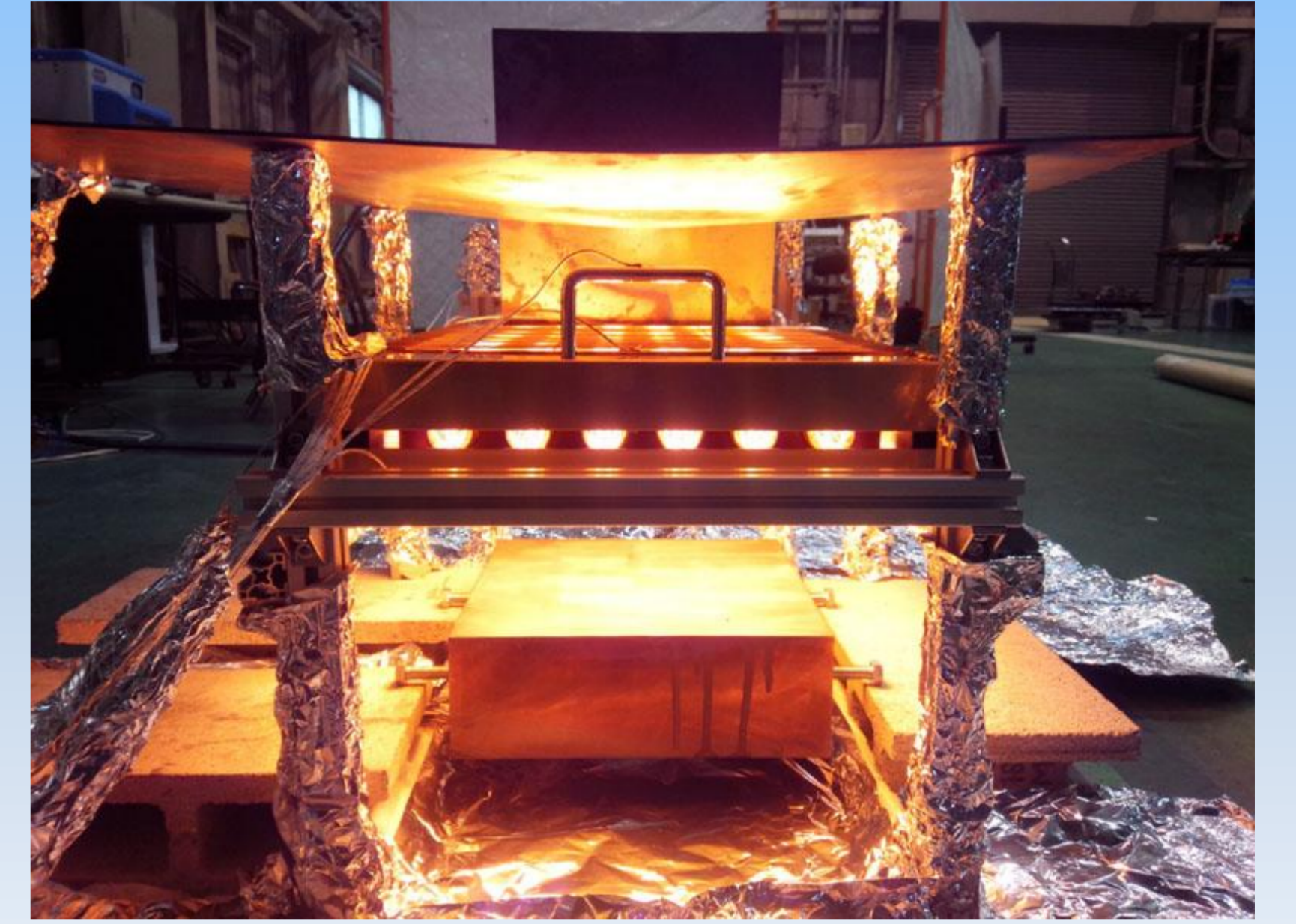
中部電力

特許2件  
出願中



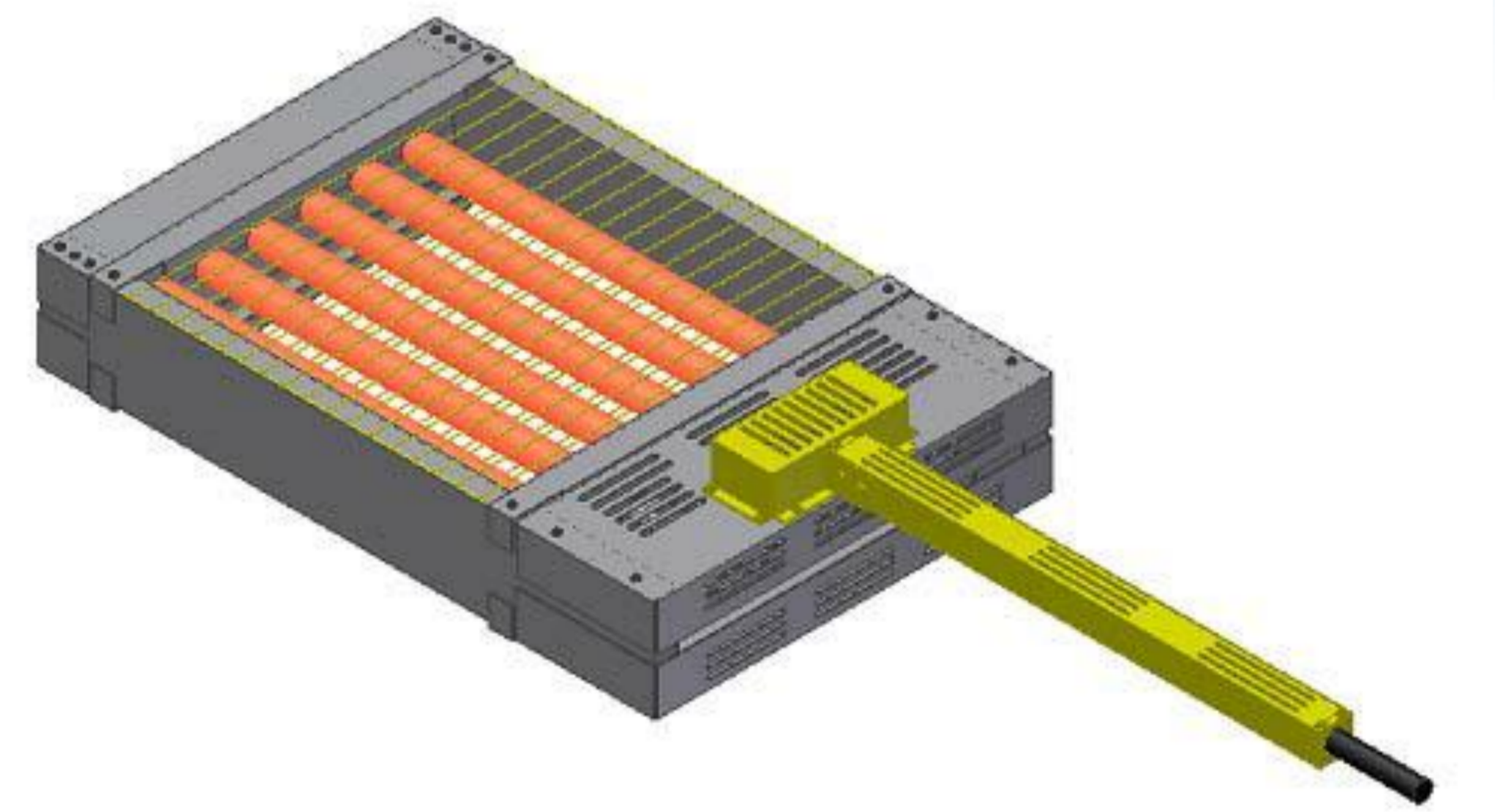
## 赤外線ヒータ式金型加熱装置

# 高出力カーボンヒータで 金型の予熱時間を 短縮します！



### 背景・目的

- 鋳造を開始する前に、“製品歩留まりの改善”ならびに“金型保護”を目的に、金型を予熱する必要があります。この金型予熱における「予熱時間の短縮」・「作業環境の改善」・「エネルギー使用量の削減」という3つの課題を解決するために赤外線ヒータ式金型加熱装置の開発に取り組みました。



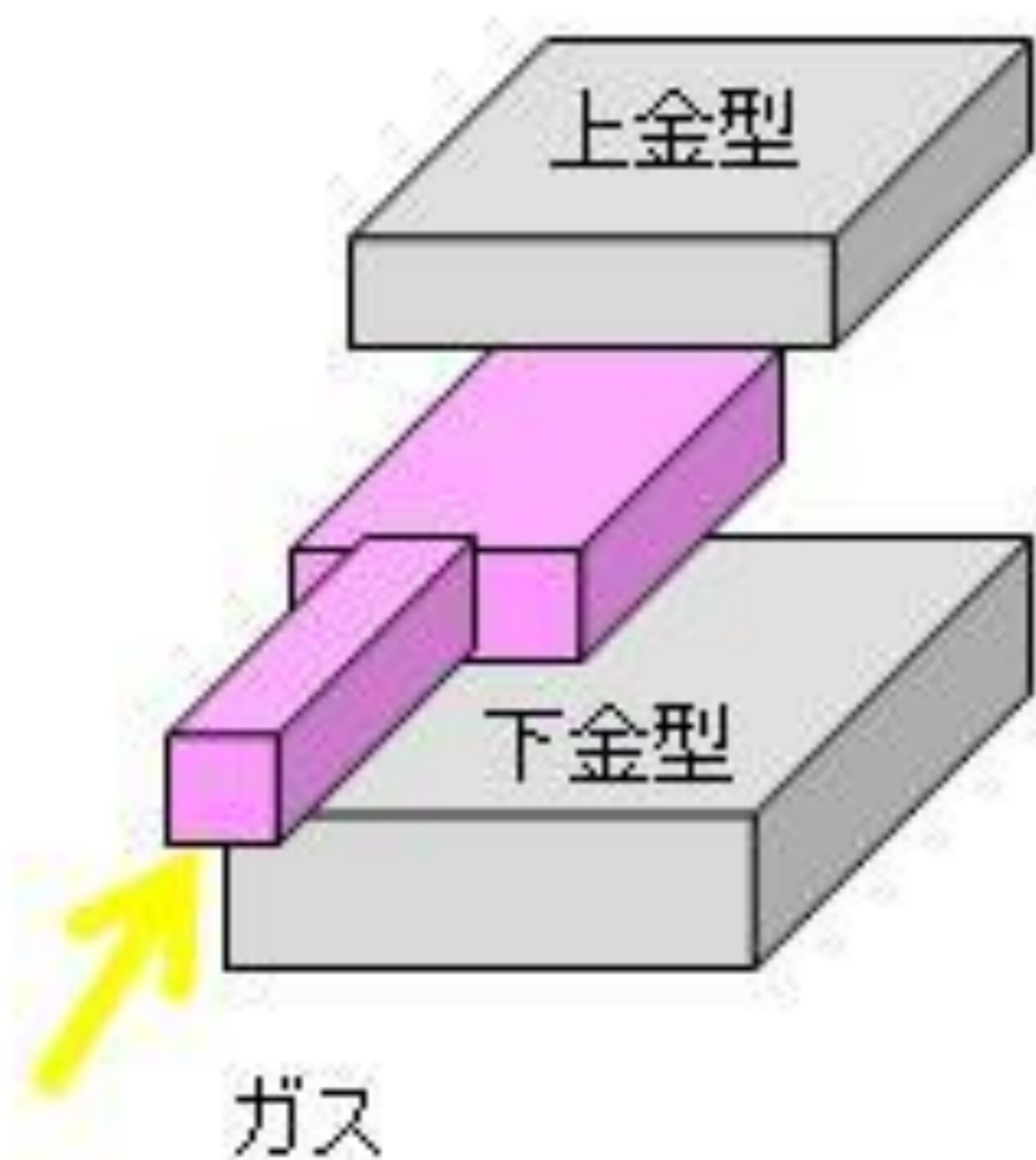
### 特長

- 高出力のカーボンヒータ(300 kW/m<sup>2</sup>等)を活用することで予熱時間を短縮できます。
- 上下または左右の金型を同時に加熱できます。
- 中赤外線のため遮光対策が不要です。
- カーボンヒータのため、立ち上げ時に過大な電流(突入電流)が流れません。

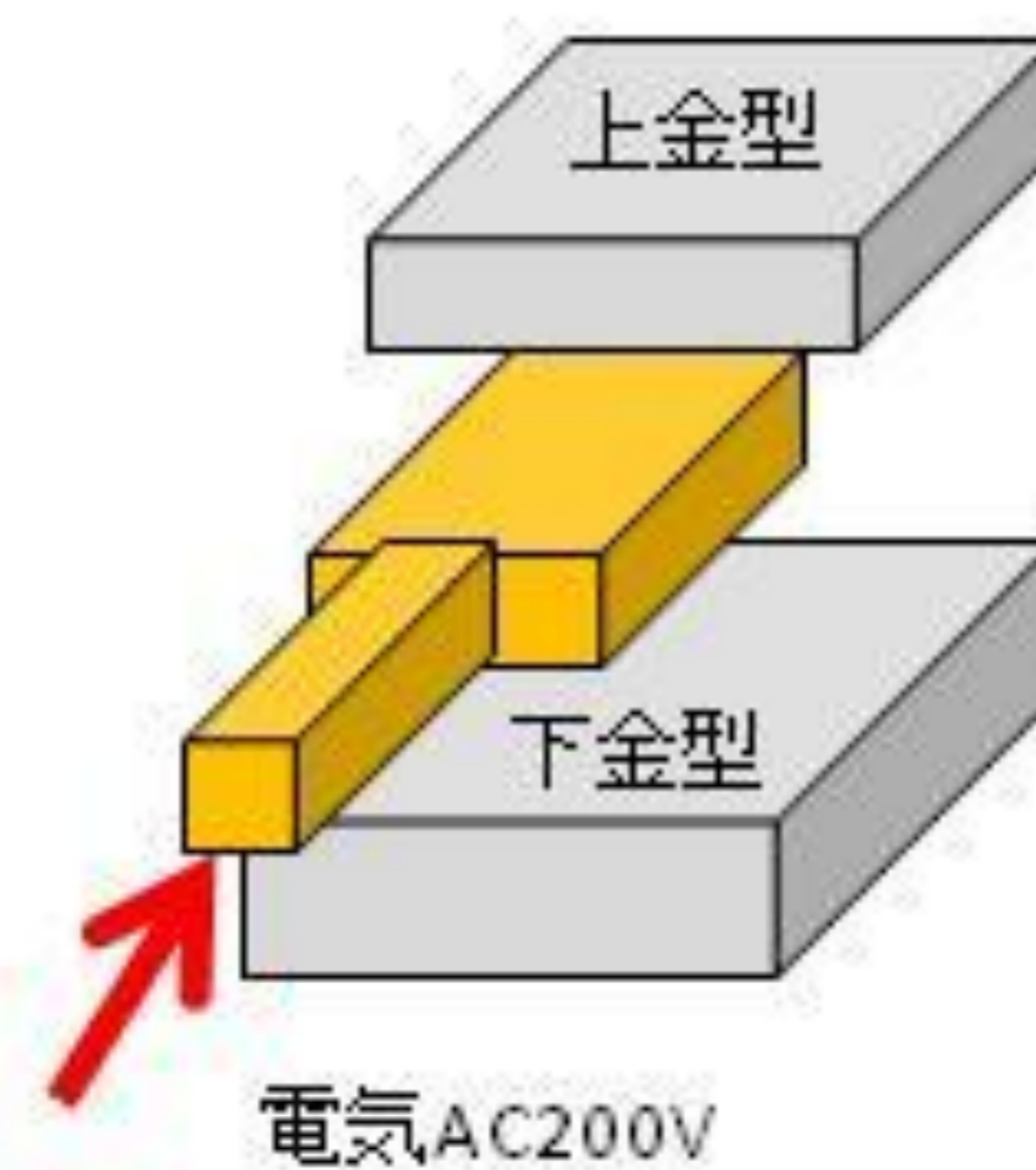
### 用途

- 低圧鋳造金型の予熱
- 重力鋳造金型の予熱
- アルミダイカスト金型の予熱
- 樹脂金型の予熱

現状:ガスバーナー  
(ガス式マットバーナー)



改善後:赤外線ヒーター  
(電気式カーボンヒーター)



### 開発者の ひとこと

お客さまからのニーズが多くある「金型予熱の省エネ・環境改善」に挑戦し、予熱時間の短縮・省エネ・作業環境改善に成功し、お客さまに喜んでいただくことができました。